The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF

TAKARAZUKA

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝 塚 ワ イ ズ メ ン ズ ク ラ ブ
〒 662-0977　西宮市神楽町 5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0798)35-5987

宝塚ワイズメンズクラブ　２０１９年１月会報　第３６３号

主 題 ・ 標 語

国際会長(I P)　Moon Sang－Bong(韓国)
主 題:　Yes, we can change 「私達は変えられる」
スローガン　'Coutrage to challenger'

アジア太平洋地域会長(AP)　田中 博之
主 題:　'Action' 「アクション」

西日本区理事(RD)　遠藤 通寛(大阪泉北)
主 題:　「未来に残すべきものを守り育てる」
Let's Protect and Culrivate What Should Be Psssed on to the Future.
副 題:　「めぐり逢う一筋の光」
Seek Your Encounter with a Ray of Light

六甲部部長　大田厚三郎 (神戸西)
「六甲部は、一つの体。ともに助け合い、部全体の発展向上をはかろう。」

宝塚クラブ会長　青柳美知子
主 題:　「やさしさと笑いで、幸せクラブを作ろう、その中に新しい仲間を！

今月のテーマ: IBC (国際兄弟クラブ)　DBC (国内兄弟クラブ)
肉の思いは死であり、霊の思いは命と平安です。肉の思いは神と敵対し、霊の思いはあなたがたの死ぬはずの身体をも生かしてくださいます。
(ローマ書 8 章 6 節以下)

2019年1月六甲部新年合同例会

日　時 : 2019年1月22日(火)18:30
場　所 :　グリーンヒルホテル神戸
会　費 : 会員 4,500 円
ドライバー　多胡葉子宝塚クラブ次期会長

開会点鐘　青柳美知子宝塚クラブ会長
ワイズソング　全 員
聖書朗読　石田由美子宝塚クラブ
祈　祷　田辺征一学園都市クラブ
ゲスト・ビジター紹介

新年挨拶　大田厚三郎六甲部長
会　食
司　会　杉本隆人神戸学園都市クラブ
各クラブアトラクション
芦 屋クラブ
宝 塚クラブ
神戸西クラブ
YMCA 報告
誕生日のお祝い　各クラブ会長
ニコニコファンド
閉会点鐘　安行英文さんだクラブ会長

誕生日 おめでとう！	堀江裕一 (12 日) 武田 建 (19 日) 武田壽子 (25 日) 西川勝久 (22 日) 服部拓摩 (22 日)
12 月 実 績	例会出席者数　52 名 在籍会員数　25 名 出席会員数　19 名 出 席 率　0.76% メイクアップ(内数)　0 名 メネット　2 名 コメット・孫メット　0名、 ゲスト・ビジター　31 名 例会充足率　208%
	BFポイント　12 月　0 円 累 計　21,387 円 にこにこBOX　12 月　8,000 円 累 計　25,500 円 ファンド(物品販売)　10,000 円 累 計　45,550 円 礼拝献金　54,500 円

（2019.1. 1 初日の出）

会長のことば

明けましておめでとうございます。皆様にはお元気でお正月を迎えられましたでしょうか？　今年も何卒よろしくお願い申し上げます。

新年になると、毎年私は子供の頃のお正月を思い出してしまう。とにかく3日間が無性に楽しかったのだ。年末のお餅つきに始まり、祖母に塗りのお膳を出してもらい白みそのお雑煮で祝い、必ずしたかるたや羽根つき、父と一緒にした凧揚げやコマ回し等夢中で遊んだ。今は元日に息子一家とお祝いするのみになったが、それでも、年賀状を頂き、書く楽しみもあり、平和をかみしめる貴重な時間だ。

昨年も大きな自然災害に沢山の人が襲われ、命や全てをも失われた。住み辛くなったのは北極圏の白熊さんだけではない。今年も悲しみ、苦しむ人が一人でも少ないように、皆様と一緒に祈りつつ歩み続けたい。

青柳美知子

【今月の聖句随想】

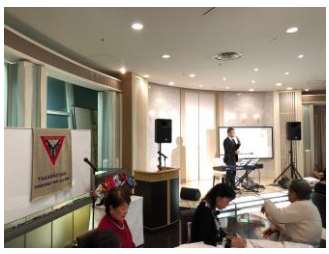
「聖霊」とか「みたま」とか言う用語は、日本語では古来印象の良くない言葉です。「もののけ」「おばけ」「ゆうれい」、なにか人間の存在を脅かす得体の知れない、やみの存在として扱われてきました。最近それが文化財として評価されたり、まんがの世界の主人公として光の世界へと躍り出てきましたが。

しかし聖書では「肉と霊」とは人間存在の生き方を決定する重要な要素とされています。人の賢さも近代科学の飛躍的な発展も、それが「肉の思い」に属する限り、破壊的・悪魔的力に過ぎない。「霊の思い」こそが「利他性」「隣人への愛と奉仕」を生み出す力だと。キリストとともに生きるとは霊の力に押し出される生き方を指しているのです。

辻　　建

---

12 月第1例会報告



12月19日（水）午後6時から宝塚ホテル、オーシエルの間に於いてメン・メネット・ゲスト・ビジターを含む52名の出席で第一部は若林成幸ワイズのドライバー、青柳美知子会長の開会点鐘で始められた。ワイズソングの斉唱、聖書朗読、祈祷後、今日のゲストスピーカーの山本真一郎氏のゴスペルで歌うクリスマス。やはり生で聞くゴスペルの迫力は素晴らしく神々しく感じられた。福音

讃美音楽のゴスペルはクリスマスの喜びを回りに伝えていくことの喜び溢れる歌声で感動的なものでした。神様が無条件に人々を愛して下さる深い愛のお話に心洗われる思いでゴスペルに耳を傾けました。「ＹＭＣＡ地球市民プロジェクト」を覚えての献金後、第二部は会長によるゲスト・ビジターの紹介のあと、皆で楽しく食事しながら歓談の時間です。各テーブルでは楽しい交流が出来たようです。クリスマスのシュトーレンや豚肉も好評で完売です。各委員会、ＹＭＣＡ報告後、お誕生日お祝いがあり会長の閉会点鐘でクリスマス祝会は盛会のうちに終了しました。

鯖尻佳子

12 月第2例会報告

12 月第 2 例会は日程を変更して 12 月 12 日(水)18:30 に宝塚西公民館にて行われた。出席者は、青柳会長、長尾、石田、福家、多胡、鯖尻、福田宏子、武田、今田、吉田、堀江、谷川、若林各メン、13 名。

議事要旨は次の通り。

1. 市民クリスマスの確認

12 月 14 日開催の市民クリスマスの運営に関し、当日の進行プラン、役割分担を確認した。当日 14 時から子ども用プレゼントの袋詰め作業を行うことを追加した。

2. クリスマス例会

クリスマス例会は日程を変更して 12 月 19 日(水)18 時から宝塚ホテル・オーシエルの間で行う。山本真一郎氏を迎え「ゴスペルで祝うクリスマス」と懇親会。席上献金は「地球市民プロジェクトを覚えて」とし、会計は、テーブル毎に献金袋を置いておく。

3. 六甲部合同例会について

大田六甲部長が提唱、武田国際・交流主査による六甲部会の合同新年会を 1 月 22 日(火)18:30 リーンヒルホテル神戸にて開催。会費 4500 円。各クラブに参加を呼びかけているが、それぞれに事情があり参加数は低迷気味。アトラクションとしてクラブ毎に一つの出し物をする。申込締切:1 月 10 日武田メンまで。

4. TIFA(宝塚国際交流協会)の NGO 展等

3 月 2～3 日開催の NGO 活動展に参加し、神戸 YMCA のラオス・ワークキャンプの写真展示を行う。写真は谷川メンが取りそろえる(→12/14 市民クリスマス会場に展示の写真を再利用)。

また、TIFA 主催「留学生による日本語スピーチコンテスト」2/16　13～16:30 に審査員の協力依頼があり、武田メンが奉仕されることになった。

5. 近隣クラブのクリスマス関連行事

12/15(土)18:00　神戸クラブ
12/15(土)18:00　さんだクラブ
12/23(日)18:00　芦屋クラブ
12/24(月)14:30　ベルクワイアー・コンサート
1/10(木)19:00　神戸ポートクラブ・コンサート
1/29(土)9:30　発達支援セミナー

6. ブリテン 1 月号の編集

長尾メンからブリテン 1 月号の編集方針の説明があり、寄稿分担・日程等を確認した。
原稿締切りは 12/31。

6. その他の報告

・吉田メンから、ジャガイモ販売の利益が 187,348 円と報告された。

・若林メンから、宝塚クラブ 30 周年記念誌の進捗状況と 1 月発行予定であることが報告された。
・次期クラブ役員については多胡次期会長のもとで検討されているが、若手の起用を望む声があった。

若林成幸

クリスマスキャロルの夕べ 報　告

今年も一生懸命に取り組んだキャロルの夕べは盛会に終える事ができました。
総マネジメントの若林さんはじめ関わったすべての皆様に感謝します。

14 回目にもなると、出演者の皆様と世話をする我々メンバーともハーモニーが取れてきてとてもスムーズに事が運べた事が、来場者の皆様が楽しんで帰って下されたことにも繋がったと思いました。毎年多くの障がい者の皆さんも一緒に行うこのクリスマスコンサートも、しっかり地域に根付いてきたと思います。我がクラブを本当に誇りに思います。

青柳美知子

市民クリスマスを終えて

2018 年 12 月 14 日(金)宝塚ベガホールにて第 14 回市民クリスマスを開催し、出演 4 団体 100 名、、ワイズ・スタッフ 11 名、お客様 361 名　合計 472 名のビッグ・イベントとなり、皆さんが喜びいっぱいにクリスマスのひとときを過ごすことが出来ました。

今回は、関学神学部学生有志による寸劇が中止になったため第 1 部のプログラムを修正し、朗読と音楽によって演じました。テキストとして用いたフェリックス・ホフマン著、生野幸吉訳の童話「くりすますものがたり」を富樫恭子さんが「マリアと天使・ひつじかい・ヘロデ王と博士・馬小屋」の情景が目に浮かぶように読み聞かせて下さり、じわじわとクリスマスの意味を感じることができました。ダカーポの“リコーダー協奏曲”やキャロル“松明を手に手に”も素晴らし演奏でしたし、合唱も納得できる演奏を披露してくれました。合唱は 9 月中旬から 10 回の練習を重ねましたが、“青少年のためのアヴェ・マリア”や“あわてんぼうのサンタクロース”に手こずったので、本番の出来具合に達成感を味わったことでしょう。

第 2 部にはポップン・リンガーズが新装備のベルで数曲のキャロルを演じました。子どもたちのいつもの笑顔や振る舞いからホールは微笑みと大拍手で満たされました。かわって登場のマハロ、一転して健康美いっぱいにフラを演じ、元気をいただきました。続く「キャロルの花束」では会場の声も例年より一段と大きく聞こえ、このプログラムが地域に定着したように感じました。また、フィナーレの「ハレルヤ」も楽しく歌いきり、クリスマスの感動を呼び起こしました。

ロビーでは YMCA の活動を覚えて募金活動が行われ 122,298 円が献げられました。

財政的には、今年も宝塚教会・甲東教会から協力献金をいただきました。教会はバザー収益が減少傾向にある中での協力でした。また、Ys クラブ六甲部から CS 活動助成金を与えて下さり大きなきな励みとなりました。それぞれに対して深く感謝致します。

皆様のご理解とご協力があればこそのプログラム。ボランテイア精神に満ちあふれ、それぞれが役割を分担し、互いに手を差し伸べて協力しあう美しい光景を随所にみることができました。何という喜び、ただただ感謝あるのみです。

Merry Christmas & a Happy New Year!

市民クリスマス収支報告（速報）　（円）

収　入		支　出	
教会献金　2 件	100,000	会場費	186,948
ワイズ拠出	124,863	ピアノ調律費	21,600
出演者協力金	123,500	謝金　5 件	100,000
寄付・その他	57,000	印刷費	27,335
		練習会場費	10,000
		飲食費（弁当外）	57,558
		通信費・雑費	1,922
合　計	405,363	合　計	405,363

＊募金　122,298 円

（神戸 YMCA の国際協力募金・被災地支援活動に献金）

若林成幸

部会・他クラブ訪問

さんだクラブのクリスマス例会に出席して

12月15日（土）はさんだクラブのクリスマス例会に寄せてもらった。

5時からの礼拝は、三田阪急の上にあるピッキモールの 6 階で末岡成夫牧師の司式とお話しがあり、その後武庫川沿いのおしゃれなフレンチレストランに移り祝会となりました。テーブル一つに 12 名が顔を突き合せた形で座り、シェフ自慢の美味しいお料理に舌鼓を打ちながら、楽しいお話で大笑いばかりで時間の経つのを忘れました。初めての参加でしたが、なんだか疲れも吹っ飛び、忘れられない楽しい時間になりました。

さんだクラブの皆様に感謝します。

青柳美知子

神戸西クラブ訪問記

１２月８日（土）午後１２時より神戸グリーンヒルホテルに於いての神戸西クラブのクリスマス例会に出席してきました。岡山泰典会長の開会点鐘後、ワイズソングを斉唱、祈祷、食前のお祈りで会食が始まりました。７名の出席でしたがお料理も美味しくビールやワインも皆で頂きながら和気藹々の雰囲気で楽しく交流が出来ました。また２時からは場所を神戸ＹＭＣＡに代わって俳句を作ったり岡山会長のギター、また芦屋クラブの上野恭男ワイズのウクレレも加わってフォークソングを皆で懐かしく歌いました。名残を惜しんで西村屋にも寄りコーヒーも頂きました。少人数ではありましたが心温まる素敵なクリスマス例会でした。

鯖尻佳子

芦屋クラブクリスマス祝会に出席

１２月２３日（日）恒例の芦屋クラブクリスマス祝会が「ホテル竹園芦屋」にて行われ８０余名の参加者がありました。宝塚クラブからは青柳会長、鯖尻メン、堀江が出席しました。本年も礼拝で始まり、ダンスで終わるという芦屋クラブらしい祝会でした。第１部礼拝では芦屋クラブ権甲植

メンの奨励があり、神への「賛美と感謝」について実体験を交えながら熱烈に話されました。
第２部祝宴では食事のあと、ウクレレ・スイング・トリオの演奏を聴きながら、かなりの人たちがダンスに参加されました。次いでこれも恒例のオークションがあり、豪華景品が多く提供され、１０万円を超す多額の収益金がその場で神戸ＹＭＣＡに献金されました。
太田部長をはじめとする六甲部の他クラブからも多くの参加者があり、毎年のことながら「六甲部クリスマス祝会」の様相でした。最後は全員が一つの輪になって腕を組み「きよしこのよる」を歌って散会しました。

堀江裕一

2018/19

役　員	会　長　　青柳美知子 副会長　　福田宏子 書　記　　若林成幸 会　計　　吉田　明　堀江裕一 会計監査　加藤光信 連絡主事　谷川　尚 メネット連絡　福田素子 国際・交流主査　　武田壽子
事　業 委員長	ＹＭＣＡサービス・ユース　福田宏子 地域奉仕・環境　多胡葉子 EMC　杉谷和代 交　流・ファンド　石田由美子 広　報(ブリテン)(HP)　長尾　亘
特別事 業委員長	ＮＧＯ　　鯖尻佳子 じゃがいも　小林康男 バザー　　長尾　亘 市民クリスマス　若林成幸

IBC/DBC コーナー

ギブクラブよりのクリスマスの挨拶

親愛なる宝塚クラブの皆様へ

心よりクリスマスのお祝いと恵みに満ちた新年をお祈り申し上げます。

お互いに遠く離れて暮らしているにもかかわらず、宝塚クラブの皆様と同じ目標に基づいて、活動を始めて以来、深い友情に繋がれている恩恵をしみじみ痛感いたします。

当初、クリスチャンが取り組んだ目標と同じものが、いまでも大いに世の中で必要とされています。この大きな世界の中で、日本の皆様の日常生活がいかがなものか、また自然災害や他の問題等を耳にするにつけ、皆様の心の内をお察し申し上げます。それ故、皆様との温かく実り多い、IBC での交友を望みつつ、心よりクリスマスの祝福が皆様にございますように･･･

添付しております写真は、恒例の我クラブのクリスマス例会で、皆の表情は楽しい希望に満ちた喜びに溢れています。

愛をこめて、ギブクラブを代表いたしまして、

ジェン　オール　マイケルセン

福田宏子

年会費納入のお願い

2018/19 年度　後期(1 月～6 月)会費の納入をお願いいたします。

金　額　　20,000 円(青年会員は 10,000 円)

前期分未納の方は合わせてお願いします。

(銀行振込の場合)

銀行名　　三菱 UFJ 銀行
宝塚中山支店

口座番号　普通預金　4585836

口座名　　宝塚ワイズメンズクラブ
(会計　吉田　明)

YMCA だより

みつかる。
つながる。
よくなっていく。

新年あけましておめでとうございます。

ワイズにとってもYMCAにとっても大きな変化や活動のあった 2018 年から 2019 年に。年号の変化など社会は大きな潮流の変わり目なのかもしれません。この時代にあって変わるべきものと変えざるべきものをしっかりと見据えて、YMCAのあるべき姿を問うていく、そんな 1 年になればと思っています。

今年もたくさんのお支えをお願いするとともに、多くの喜びと希望をともに分かち合いましょう。何卒よろしくお願いします。

1. 神戸ポートワイズメンズクラブ新春コンサート

神戸ポートクラブでは1月の第一例会に、余島リーダーOG である田中仁志さんをお招きし、コンサートを開催いたします。PPM(ピーター・ポール＆マリー)をご存知の世代、またキャンプソングとして触れるリーダーもいらっしゃることだと思います。

入場料無料ですので、ぜひ広く告知いただき、多くの方にご参加いただけますと幸いです。

日時:2019/1/10(木)午後7時～8時30分
場所:神戸 YMCA 三宮会館チャペル
出演:Piece of Forest
詳細は
https://www.kobeymca.org/data/pdf/20190110.pdf

2. 第 36 回チャリティーワインを楽しむ会

神戸YMCAでは、2004 年度より「子ども奨学金」を設置しました。この奨学金は、神戸YMCAの主催する青少年プログラムに、経済的事由のために参加したくても参加できない 18 歳未満の青少年に対して支援をし、その心身の健やかな成長に資することを目的として設置されました。「チャリティーワインを楽しむ会」では、趣旨に添って一人でも多くの子どもたちを支援するために収益の一部を「子ども奨学金」に捧げます。

今回のテーマは、「ちょっと早いバレンタインを楽しもう」とし、引き続き神戸ポートピアホテルのフレンチレストラン「トランテアン」で開催させていただきます。洗練されたエスプリの融合、その美食の世界をご堪能下さい。

日程:2019 年 2 月 1 日(金)18:30～20:30
場所:神戸ポートピアホテル 31F
　　フレンチレストラン「トランテアン」
参加費:10,000 円
問い合わせ・申し込みは神戸YMCA本部事務局
℡078-241-7201

3.スピーチコンテストのお誘い

神戸YMCAではかねてより日本での進学や就職を希望する外国人の方々のために日本語教室・日本語学校を行っていますが、日本語を学ぶ学習者が、日本での経験や見聞などをテーマにスピーチを行うことで、日頃の学習の成果を披露するとともに、地域の方々にかれらの存在をより深めていただくため、関係各方面の方々のご協力いただき、スピーチコンテストを開催するようになり10回を数えています。日々、ご支援いただいているワイズの皆様には、ぜひ留学生の声を聞いていただけると幸いです。お越しいただけることで学生にとっても大きな励みになると思います。皆様の当日のご参加をお待ちしております。なお、参加希望される方は事前に神戸YMCAカレッジ橋本(もしくは谷川)までご連絡ください。席を確保するようにいたします。

また例年のお願いですが、このコンテストにワイズからのご支援・ご協賛よろしくお願いいたします。

《第 11 回神戸 YMCA・コミュニカ学院スピーチコンテスト》

日　時:2019 年 2 月 27 日(水)9.00-13.00
場　所:兵庫県民会館　けんみんホール
主　催:神戸 YMCA/コミュニカ学院
協　賛:神戸日本語教育協議会
連　絡:神戸 YMCA 学院専門学校
　　担当:橋本　／　078-241-72

2018 年　クリスマスキャロルの夕べ

MC の場所から　　石田由美子

第 14 回キャロルの夕べは毎年の事ながら感動の連続でした。宝塚厚生幼稚園園児さん達の力の限りの合唱はすっかりおなじみになり、コンサート幕開けの花火の役目の様です。先生方、保護者の方々の応援ぶりがステージの上からよく分かります。

このコンサートがきっかけでゴスペルのママグループが出来たと聞いています。今後が楽しみです。

「ポップンリンガーズ」はベルをプラスティック製から金色に輝くより響きのいい音色のベルに変えました。大きな前進です。一生懸命の演奏がさら感動的で大きな拍手を呼びました。

関学三田キャンパス「マハロ」の 31 名のフラガール達の踊りに会場は魅了されました。授業終了後大急ぎで駆けつけて協力してくれた三田キャンパスのアイドルに感謝です。

初めてキャロルの夕べに来た数名の友人からの感想は、大変良い企画である、良く練られて準備が万全であった、舞台と客席が溶け合って他にはない雰囲気であった、等です。多くの関係者のご支援に感謝致します。

はんしん自立の家の入居者の方々とハレルヤコーラス　　多胡　葉子

毎年コーラスのお手伝いをしている我々は壇上から降りて最後尾の車椅子席で歌っていましたが、今年は参加者 6 人全員がボランティアの方々と共に車椅子ごと壇上へ。みんなで一緒にハレルヤを大合唱しました。「できない事はない」ここでも彼らは証明して下さいました。キャロルの夕べは毎年感動が与えられる催しでこの事は今年の感動の一つです。

その他参加した人たち

富樫恭子さんの
童話クリスマス物語の朗読

クリスマスキャロル合唱団

弦楽器アンサンブル「ダカーポ」

宝塚ワイズの若林成幸ワイズ
の指揮で客席と合唱

最後のメサイアにはステージに大田厚三郎六甲部部長も

Dear Takarazuka Y's Men's Club,

Please accept our warmest wishes for a Merry Christmas and a blessed new year!

We see it as a wonderful privilege to be in contact with a club in so different a part of the world. And yet, although we are living far away from one another, we also have a most grateful feeling of fellowship, since we both take part in a common cause. A cause that the world seem as much in need of now, as in the days when Christman first took place.

We are concerned, in this increasingly global village in which we all live, how your daily life is, and every time we hear news about natural disasters or other problems in Japan, we talk about you and send our sincere sympathy to you.

Therefore, we send – with all our heart – our Christmas blessings to you, hoping that the warm and fruitful relationship between us will continue.

The picture below shows us gathered together for our annual Christmas meeting. The atmosphere was one of cheerful and hopeful joy.

Yours affectionately

On behalf of the members of Give Y's Men's Club

Jens Ole Mikkelsen